

I 目指す学校像（基本理念）

◇ 一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす

- 1 一人ひとりの教育的ニーズや障がい特性に応じ、その可能性を伸ばす教育活動の充実
- 2 一人ひとりの自立や社会参加をめざした一貫性のある教育の構築
- 3 人権感覚あふれる学校づくりの推進
- 4 安全・安心な学習環境の整備
- 5 共生・共学の実現
- 6 教職員間の対話・会話を大切にした組織力の向上

II 現状と課題

1 現状

これまで本校は、鈴鹿病院に入院している児童生徒を対象とした教育に取り組んできた。平成20年度より鈴鹿、亀山地域の特別支援学校の拠点校として地域のニーズに対応するため、新たに知的障がいの教育部門を設置し、鈴鹿市、亀山市在住の児童生徒を対象に通学生を受け入れた。

さらに、平成22年度より県立石薬師高等学校内に石薬師分校を開設し、高等部の知的障がいの課程を開校した。

2 課題

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備や地域等と連携したキャリア教育の推進が必要である。
- (2) 本校と分校とがあり、各学部にも四つの課程があることから、校内の連携や情報共有が十分にできていない。
- (3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすうえで、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める必要がある。
- (4) 児童生徒の増加によりトイレや教室が不足するなど学習環境の整備が急務である。
- (5) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る必要がある。

III 中長期的な重点目標

- (1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備を行う。地域等と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。
- (2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。
- (3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める。
- (4) 安心・安全な学習環境の整備に努める。
- (5) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。
- (6) 学校運営の効率化を図り、勤務時間の縮減に努める。

IV 行動計画

(1) キャリア教育の視点に立った小中高の一貫した教育内容の整備を行う。地域等と連携した一貫性のあるキャリア教育を推進する。

キャリア教育に組織的に取り組む。(運営委員会)

- ①個別の教育支援計画の書式を検討し、保護者と情報の共有を図る。(支援部)
- ②キャリア教育プログラム、アセスメントシートを引き続き取り組む。(進路部)
- ③分校へ進学した生徒の連絡会を2回実施し(4月、夏季休業中)、分校高等部のスムーズな移行を支援する。(進路部)
- ④地域の福祉事業所の見学・懇談会を行う。(進路部)
(事業所の見学会 8月4か所、事業所との懇談会 10月)
- ⑤在籍する児童生徒の多様な障がいの状態に応じた教育が行われるように、基盤となる教育課程の整備、改定を、新設の教育課程委員会と連携して行う。(教務部)
- ⑥分校と共に、教育課程別に、履修する児童・生徒の担任が学部を越えて集まり情報を共有し、一貫した教育内容や教育支援について研修する機会を設ける。(研修部)

(2) 学校全体で情報や課題の共有を図り、学校の組織力を高め、問題解決に取り組む。

- ①児童・生徒の緊急時の対応について学部間で連携を取り、運用する。(指導部)(学部代表者会)
 - ・ヒヤリハットの情報の共有と再発防止
 - ・いじめ防止委員会との連携
 - ・失踪時のマニュアルの見直し
- ②学校ホームページを充実させ校内外へ情報発信を行う。(情報部)
 - ・学校ニュースを月ごとに更新する。
 - ・学部ページを月ごとに更新する。

(3) 特別支援教育における地域のセンター的機能を果たすため、専門性の向上を図るとともに、地域の学校や関連機関と協働し、効果的な支援を進める。

- ①交流活動を推進する。(人権交流部)
- ②教職員の研修ニーズを把握し全体研修会、学部研修会を行い、教育支援の充実を図る。(研修部)

(4) 安心・安全な学習環境の整備に努める。

- ①昨年度作成した「学校安全計画」に基づき、各学部・委員会では年間計画の中に安全の視点を取り入れて実践する。(総務部)(運営委員会)
- ②児童・生徒の緊急時の対応について整備する。(指導部)

(5) 大地震等を想定した防災対策、防災教育の充実を図る。

①本校分校合同防災委員会を設置し、防災防犯マニュアルに関する業務・合同で実施する訓練についての連携を図る。(総務部)

- ・年度初めに防災マニュアルに基づく災害時の対応について研修を実施し避難訓練にて対応する。
- ・児童生徒と保護者を含めてのスクールバス引き渡し訓練を実施する。

(6) 学校運営の効率化を図り、勤務時間の縮減に努める。

①会議・研修の精選と分掌間の連携の強化による学校運営の効率化向上をめざす。(学部長会)(運営委員会)